

金沢大学法学類月報

第 51 号 2018 年 2 月 25 日発行

編集・発行：金沢大学法学類広報委員会
協力：金沢法友会法学類広報プロジェクト



大雪の影響で、定期試験が延期されるなど、大学も大きな影響を受けましたが、皆様お変わりありませんか。法学類月報第 51 号では、3 月末で定年退職される名古先生のエッセイ、金沢法友会の活動報告、就職活動体験記をお届けします。



◆◆教員エッセイ◆◆

第 17 回 名古道功先生（労働法）

◆教員生活を振り返って

金沢大学に着任したのは 1984 年 4 月です。当時は城内キャンパスであり、1989 年に文法経三学部が角間に移転するまで、石川門を歩いて大学に行き来したことを覚えています。夏休みなどでも学生を多く見かけ、またサークル活動などのため常にざわざわとしており、「大学らしい」雰囲気であったと懐かしく思い出します。

教育では、労働法の講義を担当し、ゼミも開講してきました。ゼミは、以前は研究室で行い、コーヒーを飲みながら雑談する時間がありました。最近、ゼミ生が 10 名を超えるようになり、演習室で開講しているため、フランクに話す機会が減った点は気になっていました。なお、OB の北岡君の尽力で、3 月 17 日、最終講義と OB・OG 会を開催することになりました。

研究では、ようやく定年直前に『ドイツ労働法の変容』（日本評論社）を上梓しました。共著は何冊かありますが、恥ずかしながら、通常の研究者なら有すべき単著がなく、プレッシャーを感じていました。ともかく、ドイツ労働法の研究では一区切り付けられました。最近、性的マイノリティ（LGBT）の人権保障を研究テーマにしています。現在、日本学術会議の連携会員を務めており、所属する分科会との関係で研究を始めるようになりました。秋の労働法学会においてワークショップを開催することになり、2 名の報告者などとともに研究を継続しています。

最後に、34 年間、恵まれた教育研究環境を与えていただき、またお世話になった皆様に御礼申し上げるとともに、法学類の益々のご発展を祈願しております。

高校生への法教育実践レポート（金沢法友会）



さる 12 月 27 日、公認サークル「金沢法友会」は、滋賀県立虎姫高校の文系クラス 2 年生に、法教育実践授業「ルール作り～校則を考えよう～」を提供しました。これは、台風の影響で夏休みのスタディプログラムに参加できな

かった虎姫高校生のために、有志の教員が企画した特別講座の一環で、学生は自前で教材を作成し、これをもとにして50分×2コマの授業を行いました。

授業は、校則という高校生にとって身近なルールを素材として、ルールや決まりがあるのはなぜか、なぜルールや決まりが必要なのかを考え、その上でグループワークを通じて、関係者が納得できるよりよい校則を検討する形で展開されました。意味も考えずに「ルールだから」「決まりだから」というだけで従うのではなく、ルールや決まりがもつ意味を十分理解し、ルールや決まりが不当なら、それをよりよいものに改める努力をする、といった姿勢を持つこと、さらにルールや決まりは社会生活を送る人々の「自由」のぶつかり合いを適切に調整し、世の中に秩序をもたらすものだから、確かに大切なものだとしても、まずは「自由」という観点から世の中を見ることが重要であること、が伝わったようです。

福本知行（法学類准教授・金沢法友会顧問）



「続けられることを仕事に」

「本気で好きなことを仕事にしたい。」

私が就職活動をする上で一番大事にしていた言葉です。やりたくないことを仕事にしている「モチベーションが上がらない、やりがいを感じられない」といった感情から、どんどん悪い方向へと進んでいってしまうのが人間です。

私は、大学生活を自分がやりたいことを見つける場として考えていました。服好きの友人の影響で服が好きになり、その世界にのめり込んでいきました。そして三回生になり就職活動が本格化する中で、当初は公務員や金融系、法曹関係の仕事に就くことも考えていました。しかし、大学の服好き仲間と共にファッションショーに参加する機会があったり、接客のアルバイトをした経験から、自分が本当にやりたいことが明確になり、その結果アパレル業に辿り着きました。

現在上京して内定者アルバイトとして働く中で、もちろん理想と現実のギャップに困惑することも多々ありますが、本気で好きなことだからやりがいを持って続けることができるのだと思います。

これから就職活動に臨まれる19卒の方々には「就活のための就活」ではなく、「将来のための就活」になるように願っています。いろいろなことに挑戦し、本気でやりたいことを見つけたいと思っています。就職活動を楽しんで精一杯、悔いのないようやり切ってください。

法学類4年（株）TOKYO BASEに就職内定） 中山知孝



法学類HP
へGO!



- 法学類の学生、卒業生、教員に関するイベント等の情報を、ぜひお寄せください。
- 関係者の皆様のご寄稿を歓迎します。採用された方には、法学類グッズを進呈します。
- 本誌のバックナンバーは、金沢大学法学類 Web サイトに掲載していますのでご覧ください。<http://law.w3.kanazawa-u.ac.jp//category/brochure/geppo>
また、メールでの定期配信（無料）をご希望の方は、金沢大学人間社会系事務部学生課 (n-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp)までお申し込みください。
- お読みになってのご意見ご感想は、上記メールアドレスまでお寄せください。